

サウンドスケープによる新宿地下街・地下通路の再定義

Redefining the Shinjuku Underground with Soundscapes

木下空澄

指導教員 比留間真

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 空間・工業意匠研究室

新宿の地下街・地下通路を舞台に、サウンドスケープを通して、新宿の構成要素としてのインフラを認識させて、楽しめるような空間の提案をする。

日常の音、音と空間、新宿地下街・地下通路、インフラ、都市の構成要素

1. 研究目的

昨今 ASMR という聴覚的刺激（厳密には視覚的刺激も入るが主に聴覚的刺激）を楽しむコンテンツが注目されている。そこから、音に着目することで、見慣れた日常の中に新たな視点と解釈を見出したいと考えた。本研究では、音のよって空間を改めて見つめ、再定義することを試みる。

2. 調査分析

サウンドスケープについて調査をした。サウンドスケープとは、音の風景ということであり、マリ－・シェファーが提唱した。その場の音全てが音の風景となり、その空間特有の音となる。

次に、新宿地下街・地下通路の現状のサウンドスケープに関して調査をした。実際に歩いてみると静かで心地よい空間と騒がしい空間が連続的につながっていた（図1）。



図1.新宿地下街のサウンドスケープの抜粋

さらに「新宿地下街・地下通路」の上下左右にあるが、目視はできない都市の構成要素を調べた。

新宿の地下街・地下通路の上下には数多の交通インフラが通っている。まず、新宿の地下を走る鉄道路線（図2）である。次に新宿の地上を走るバス路線（図3）そして、新宿上空を通っている飛行機の都心上空ルート（図3）である。これらを地図上にまとめた。



図2.地下を走っている鉄道路線

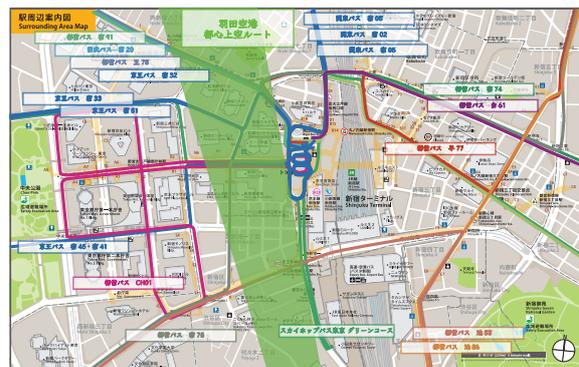


図3.上空の飛行機の都心上空ルート・バス路線

最後に、新宿の歴史上のインフラにも着目をしてきた。新宿には江戸・東京を支えた「淀橋浄水場」と「玉川上水」があった。今や淀橋浄水場の跡地には高いビルが立ち並び、玉川上水は国道20号線の下にある暗渠となっている。(図4)

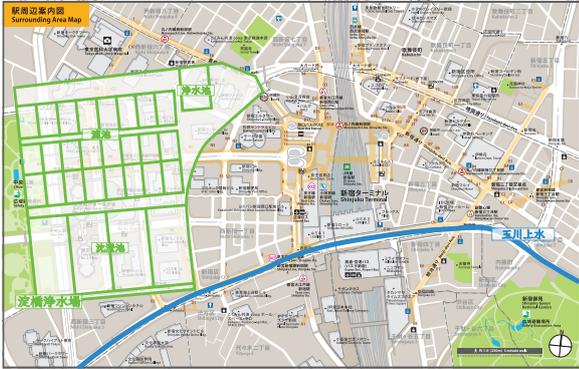


図4 今の地図上の淀橋浄水場と玉川上水

このように、歴史的な施設も今のインフラも多面的に新宿地下街・地下通路と重なり合って新宿が構成されている。

3. コンセプト及び提案物

コンセプトは「音による多層構造空間の再認識」とした。地下街・地下通路の上下左右にあり、新宿という都市を構成させるインフラをサウンドスケープの要素として用いて、地下街・地下通路から新宿の多層構造を見つめ直す。

提案物として、各種インフラを素材としたサウンドスケープとその空間を、その空間の上下左右にある地下街・通路を対象に、見える化するための設計提案を行う。都市の多層に渡る構成要素を特徴的に表している空間を対象に、サウンドスケープを要素とした音と空間を設計したいと考える。また、一貫性を持たせるために共通のベンチを全ての空間に設置し、実際に上下左右を各種インフラが通ったときに音が鳴る仕組みにしてリアルタイムのサウンドスケープを感じさせるようにする。

4. 最終提案物

空間ビジュアルとサウンドスケープの音をセットに最終計画案とする。(図5)(図6)(図7)。新宿の上下左右を通過しているのに目視できないインフラ(事例調査参照)による、新宿の多層にわたる街の構成要素とつながりを認識させて、意識しながら楽しむことを目標としている。各種イン

フラのサウンドスケープにより、新宿の多層に渡る都市の構成要素のつながりを「想像」して認識をして楽しめる感覚的な体験を提供したい。



図5 飛行機と地下鉄のベンチ空間



図6 バスのベンチ空間



図7 淀橋浄水場と玉川上水のベンチ空間

5. 今後の展開

さらに調査を重ねて、空間ビジュアルも再検討していきたい。場合によっては、計画対象箇所を減らしたり増やしたりすることも視野に入れる。また、設置場所に関しても更に検討を重ねて、寸法も気にしながら設置場所を検討していく予定である。

6. 参考文献

“新宿ターミナルマップ”。

<https://www.city.sinjuku.lg.jp/content/000364030.pdf>, (参照 2024.10.11)

プレスマンユニオン編集部.“新宿中央公園・富士見台(旧淀橋浄水場六角堂)”.東京とりっぷ。

<https://tokyo-trip.org/spot/visiting/tk0757/>, (参照 2024.10.11)

三井住友トラスト不動産.“江戸・東京の生活を支えた「玉川上水」と「淀橋浄水場」”.東京都新宿。<https://smtrc.jp/town-archives/city/shinjuku/p07.html>, (参照 2024.10.14)

田中 優. サウンドスケープにおける理論と実践. 金沢星稜大学 人間学研究. 2009-3, vol.2, no2, 35-40.